

2012年6月議会個人質問

岡山市議会議員 竹永みつえ

1 このまま「道州制」推進でいいのか？

～これからの大都市制度と地方分権～

高谷市長は今議会所信表明で「道州制推進知事・指定都市市長連合」の設立に加わったことを表明されました。その理由として市町村への大幅な権限委譲や基礎自治体の自立度の向上をあげています。

そこで市長に伺います

- 1) 道州制で具体的に統治機構がどのようになるとお考えか、権限委譲の影響をどうお考えになって自立度の向上と思われたのか、根拠をお聞かせください
- 2) 東日本大震災で緊急事態の基礎自治体の規模があらためてみなおされています。特に合併して周辺部になってしまったところは役場の機能も人もなく復興に時間がかかっているという場合が多かったと言われています。結局は生活圏で地域協議会のようなものを立ち上げ自治的な動きが必然的にできているという状況です。道州制を言う前に、住民自治、住民参加の地方分権を発展させることが重要だと思います。ご所見をおきかせください
- 3) 政令市以降議論のときも私達党市議団として、政令市になると余計、国のいいなり、国の下請け機関となる可能性が大きいのではないかと議論させていただきました。この間、特に福祉分野、障害者福祉や高齢者福祉など国の制度の壁で、市では限界という答弁が多く歯がゆい思いをすることが実際に増えていると実感しています。あらためて住民本位の地方自治という観点が重要となります。そういう観点でいうと、規模が大きくなると、より市民参加、市民参画が難しくなると思います、主体的な自立度の高い行政はどう担保されるのか？
- 4) 東京都や大阪府、京都府などのもともとの大都市と、最近政令市になった岡山市のような大都市とはそもそも違います、岡山市はどんな大都市を目指し中四国でどういう役割をめざそうとしているのでしょうか
- 5) 先日 県内の若手市長の特集をTVでしていました。大都市でなくても現行制度の

中でも魅力ある自治体作りがいきいきと報告されていました。もともとの地場産業に新たな視点をプラスした取り組みや農産物の全国発想をと郵便局に直接交渉する姿などユニークな取り組みが紹介されていました。

その大胆な市長トップダウンの行政手腕と住民が乖離していないような気がします。

どういう岡山市をつくりなを目玉にそのために具体的にどういう大都市、道州制を導入するのかがまったく見えてこない中で、市民とも乖離したまま推進しようとしている今の岡山市の状況は時期尚早と思うがいかがか？

2 「性別にかかわらずその人らしく生きるために」

さんかくウィークが今年もはじまりました。「性別にかかわらずその人らしく生きる」ことの大切さを多くの方に啓発し認識を一致させるいい機会です。

先日私はある性同一性障害の方のカミングアウトするまでの経過をお聞きする機会がありました。MTF 男性から女性への方です。子どものときから違和感があり、しかし長男として育てられたので、そういう違和感を自分の中に押し込み成長され、家庭も持ち、子どもさんも育て上げた。現在40代で性同一性障害として診断され今医学的な治療を行いながら生活をされ家族も徐々に理解しているとのこと。

こういう治療中の方をはじめ性同一性障害や性的マイノリティの方にとっては行政等の書類申請での性別記入が大きな人権侵害となっています。住民票の性別が問題となって家を借りることができない、社会保険制度の性別が障壁となって正社員になることができない、医療機関で健康保険証を出した場合であっても本人かどうか疑われるなどです。

埼玉県草加市や東京都世田谷区など各種申請様式をすべて洗いなおした結果、対象の7割近くが性別記入が不必要だという結果となり削除したということです。

ア) 岡山市でも見直しをおこない不要な性別記入欄を削除していただきたいがどうか？

イ) 各窓口での性的マイノリティの方への対応や啓発は現状ではどうされているのでしょうか？

3 性同一性障害をはじめ性的マイノリティの問題について

1) 岡山市心の健康センターに相談窓口を

体の性と心の性が一致しない性同一性障害をはじめ、性的マイノリティの方の対応について行政としての対応が求められています。

2012年3月17日18日と岡山大学医学部で開催された、全国 GID（性同一性障害）学会で、そのことをあらためて実感しました。

3月11日の東日本大震災以降、避難所で性的マイノリティの方々が大変な思いをされていたという報告、特にホルモン投与の薬不足などの問題や PTSD、社会復帰などまださまざまな問題を抱えながら日常に戻れていない状況が詳しく報告されました。また年間3万人といわれている自殺者の中にも、性同一性障害をはじめ性的マイノリティの方々も多く含まれていると伺いました。岡山大学の調査でも性同一性障害の68%が自殺を考えたことがあるとの数字が示されました。

まずは悩んでいる方に手をさしのべるシステムが必要です。

そこで伺います

ア) 医療、福祉、保健、及び教育など連携が必要です。岡山でも自助グループが活動をしています。そういうところとの連携も含め、こころの健康センターでの相談受付を開始してはいかがか？

イ) 鹿児島市では性同一性障害専門ではないが、こういうところでも相談にのってくれますよ！と性同一性障害の方への相談窓口一覧としてホームページに保健所などの機関を書いてしらせています。岡山市としてもまずはホームページからしてみたいかがですか？

2010年の岡山大学ジェンダークリニックの性同一性障害の受信者65名の調査で、70.4%が就労中であり、そのうち、体の性での就労が23.8%、心の性での就労は66.7%という現状。しかし受診前の就労時は体の性での就労が全体の8割、心の性での就労が1割強という状況だったとのことですから、治療の成果が明らかに出ています。現在の就労中6割が正規雇用であり心の性での就労は困難な結果も出ています、中には家族に外での就労をとめられ家事手伝いのかたもおられます。うち辞職の経験者が71.2%性同一性障害との関連がそのうち55.6%です。約8割の当事者が職場でのカミングアウトの経験をしています、職場全体でなく一部の上司同僚という方がほとんどです。

そこで伺います

ウ) 岡山市役所で性同一性障害の方がカミングアウトをされた場合、受け入れる職場

集団への啓発、環境整備など具体的な対応が出来るのでしょうか？

2) 教育現場における性的マイノリティの対応について

「性同一性障害者の性別の取り扱いに関する法律」が施行され、戸籍の性別変更の申し立てを行うことが可能ですが 20 歳以上で児童生徒は対象になりません。

しかし、性同一性障害の方のほとんどが学童期から体と心の性の違和感が遭ったといわれている実態をふまえ、教育現場での対応も重要となっています。

2010 年に岡山大学が県内の小中学校の教員 217 名を行った調査では 24 %、4 人に一人の教員が学校で性別違和感を持つ子どもと接した経験があり、約 11 %が自分が担任したと答えています、その一方で、その悩みに対応できなかったとする教員が小学校で 37.5 %、中学校で 62.5 %となっています。

教職員の方々も、どうしていいのかがわからない状態がこの数値からうかがえます。

また当事者への調査では性別違和感がある方の 75 %が小学生のときに

言うつもりがなかったとの結果が出ています。そして 12.5 %が迷ったがいかなかったという結果が出ています。そして当事者の 6 割がこどものころ誰にもいえなかったことを後悔しているとのこと。

当事者 181 人に関する調査では性同一性障害について教えてほしかった時期を

F T M 当事者は平均 12.2 歳 であり、M T F 当事者は平均 10.7 歳 特に M T F の当事者は第二性徴を抑制するホルモン療法の有無により体への影響が多いためこの時期の支援がとても重要になります。

県の保健体育課が 2010 年にとった性に関する調査では、学校から教えてもらいたい場合いつごろから学び始めるのがいいのか？という調査で教職員と保護者を対象に聞いた結果、性同一性障害についても同性愛についても保護者の 40 %以上、教職員の 30 %が中学校となっています。ただ教えなくてもいいという人も 20 %近くもいます。

ア) 市教育委員会として、「性同一性障害」についての性教育の内容、時期など現状と考え方をおしめしてください。

また、文部科学省も 2010 年四月に教育現場での配慮をとの通知を各市教委に出しています。岡山市もそれに基づき、研修を行っていると同っています。

イ) 教職員の共通理解を図るための研修など現状をおきかせください。

ウ) 現場の先生方への対応マニュアルはあるのでしょうか？

4 「東区」のまちづくりについて

区役所移転にともなって東区役所など 3 施設が旧カネボウ跡地へ移転新築されることになりました。

すでに旧カネボウ跡地は、緑花公園、百花プラザ、商業施設と次々開発され町の姿が変まりました。かつては西大寺観音院を中心とした商業の町でしたが、今では次の世代に商売をつぐ気がなく自分の代で閉じてしまう方が多く寂しい状況となっています。

そして区役所等の移転に伴い、西大寺駅前の一等地が空き地になってしまいます。西大寺の町を今後どうするのか都市ビジョンの区別計画に基づいての具体化が必要になってくると思います。

- 1) ビジョンには区別計画というものがありますが、これはどのような位置づけでどこが具体化に責任を持ち推進していくのか？その際の地元住民のかかわりは？
- 2) 都市ビジョンに掲げられている区別計画の視点として 「厚みのある歴史、文化、伝統をいかしたまち」とあり、西大寺観音院を中心とした町、今注目を集めているごふくどおり、また町並み保存地区の旧河本町の町並みなど今あるものをどういかし、町の活性化に役立てるのか、お考えがあればお聞かせください
- 3) f a c e b o o k やコスプレなどあらたな理由で西大寺の町を訪れる人が増えていきます、街づくりに生かせないでしょうか？
- 4) 区役所等跡地は今後東区のまちづくりとしてバランスを考えた上でどういう用途が適切とお考えか？またいつまでに方針決定を考えようとしているのか？中心となってすすめるのは政策局なのでしょうか？